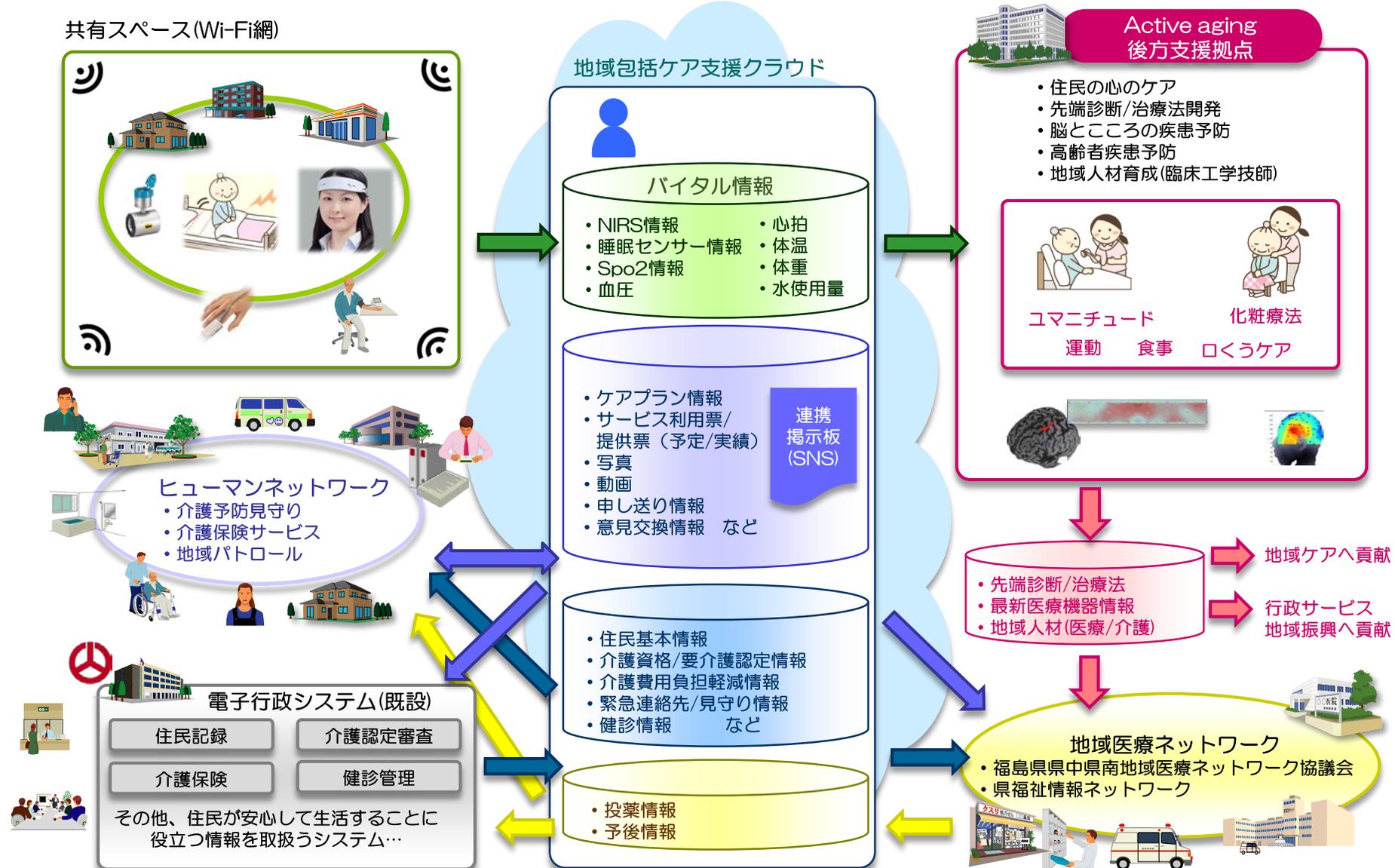


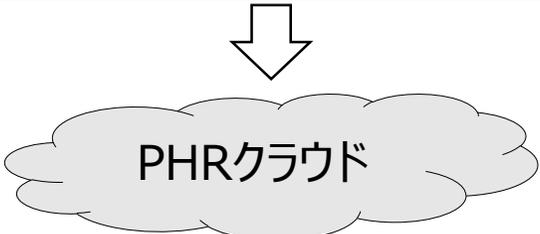
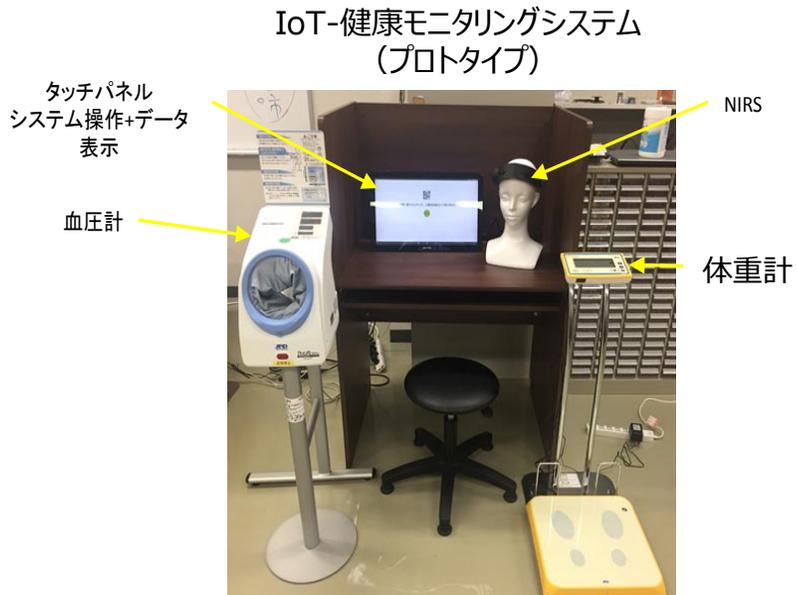
# 次世代地域包括ケアシステム（郡山モデル）全体構想



# IoTヘルスケアシステム

## 地域型IoTヘルスケアシステム

## 在宅型IoTヘルスケアシステム



## セラピー (非薬事)

アロマセラピー	化粧療法
鍼灸	運動療法

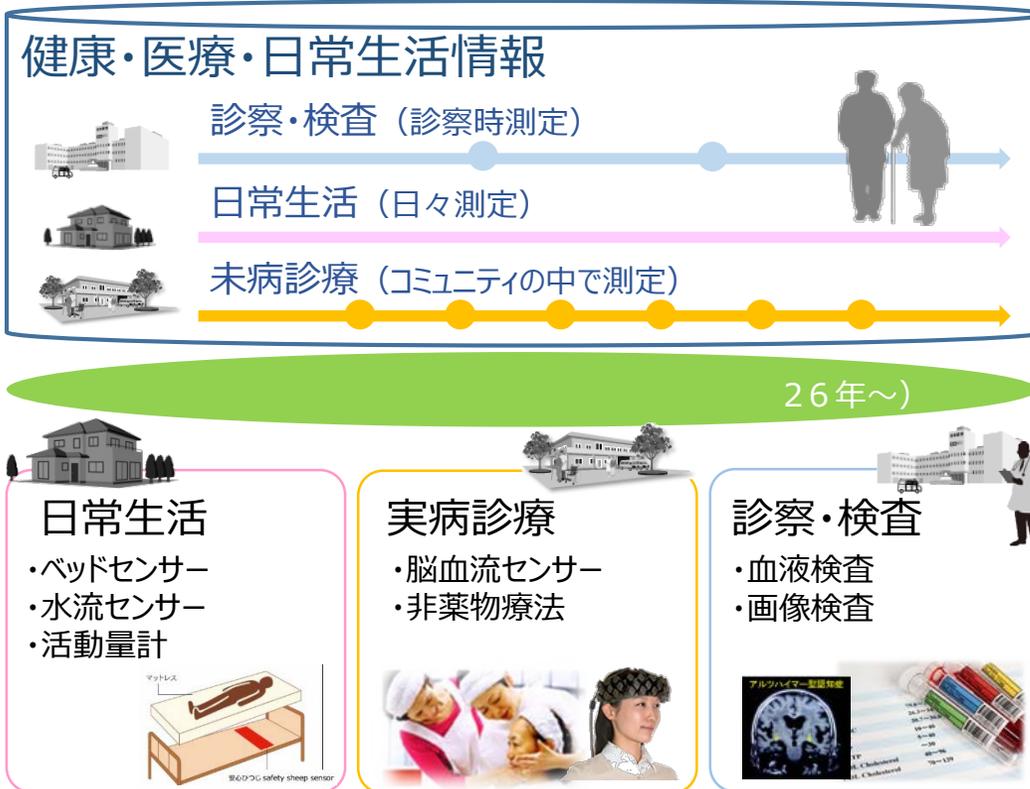
# プロジェクト概要

## 1. 実証の目的

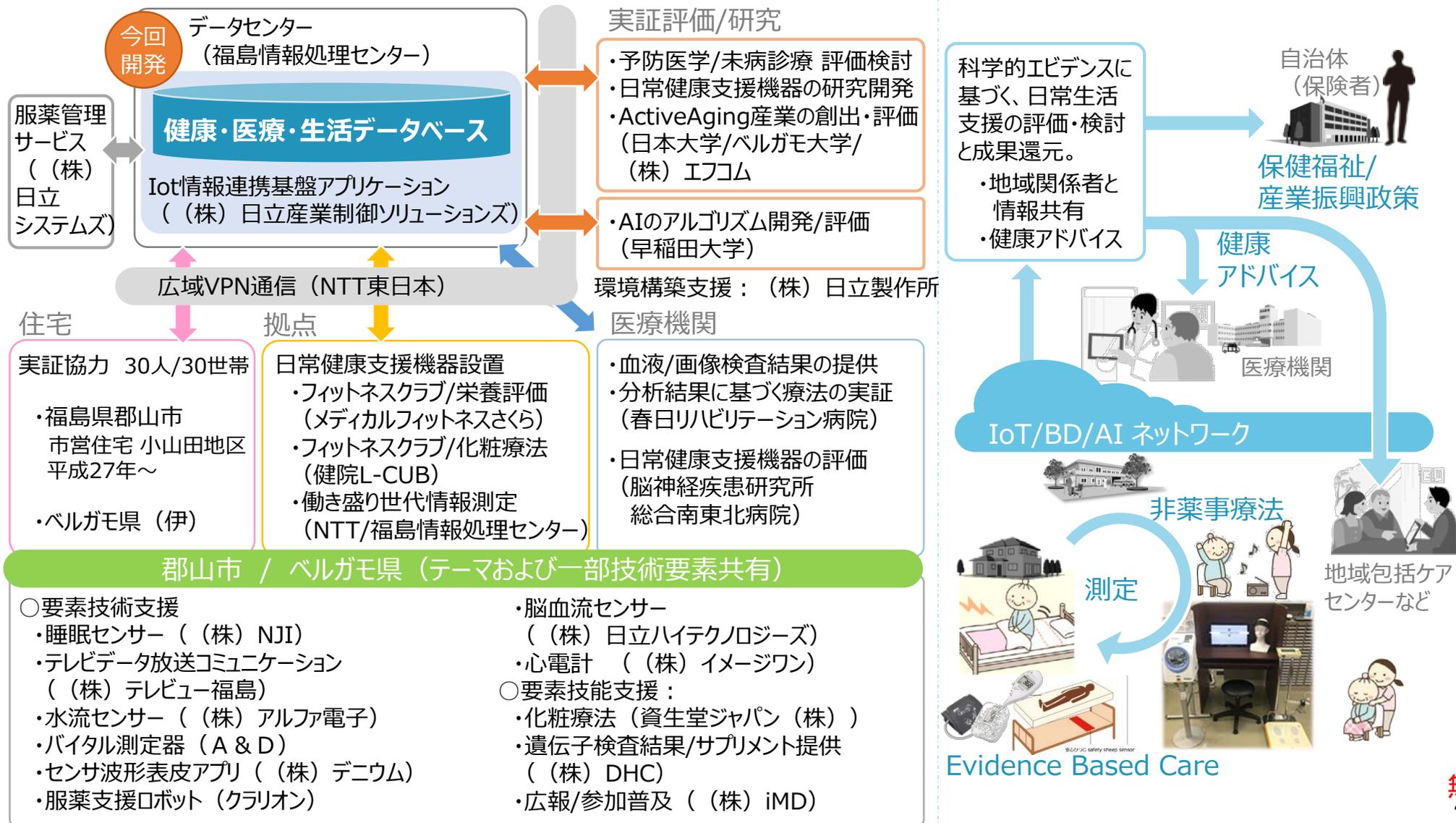
睡眠センサや脳血流センサなどにより高年齢者の日常生活および健康情報を測定・集約し、科学的エビデンスに基づいて未病診療の効果、ストレスや認知機能の見える化技術の評価、検討、改善、実証を安全に循環できるIoT, BD, AI基盤を整備し、健康寿命の延伸、日常生活支援、産業創出に繋げる地域モデルの確立を目的とする。

今回は、以下の実践課題を抽出することを成果目的にする。

- ① 睡眠センサや脳血流センサを使った、日常生活（バイタル、習慣）情報に対する心の見える化。
- ② 認知症の人および予備群に対する非薬物療法（アロマセラピー/化粧療法/鍼灸/運動療法）の効果測定。
- ③ 測定データの分析結果に基づく効果測定指標（標準化）の提示。



/脳血流情報を測定し、実証課題の成果目標を抽出。

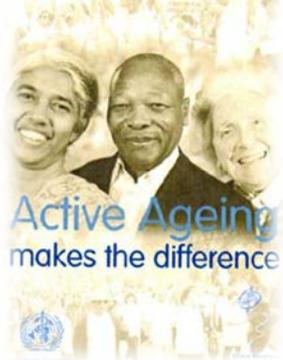


#### 4. 実証プロジェクトの背景と今後の取り組み

少子高齢化が進行する中、アクティブシニアに注目した健康寿命の延伸、新規職業の創出による地域産業振興・雇用機会を撫育する地域モデルの確立、および要素技術/技能をアウトカムとして世界に発信し、ヘルスケアを通して活力のある地方地域モデルの確立を目指す。

## アクティブシニア

国際保健機構 (WHO)

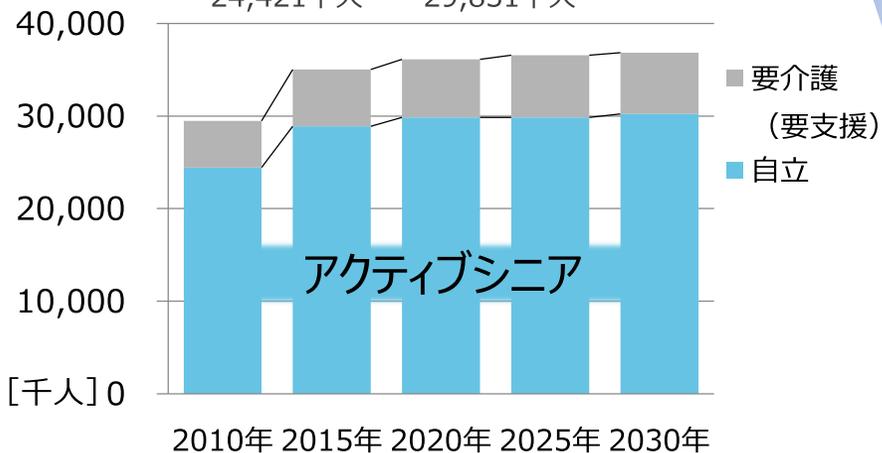


・生活の質を低下させることなく、社会参加を続けながら歳を重ねてゆく。

・若者が高齢者を支える従来の社会通念から脱し、老若共に支え合う社会へパラダイム転換を目指す。

わが国の元気なお年寄りの数

24,421千人 29,831千人 **30,216千人**



5月報告 人口動態は内閣府高齢者白書から抽出

### 地域モデルの確立

生活就労を終える人は、  
全国で約150万~200万人/年

#### 地域相談

- ・地域ビジョンの共有
- ・地域就労生活紹介

#### 就労支援

- ・いきがい人材登録
- ・研修・訓練・見学会
- ・就労先紹介

経済循環

#### いきがい就労

- ・1日4時間程度
- ・いきがい重視
- ・無理せず、楽しく収入

#### 健康維持支援

- ・定期メディカルチェック
- ・ヘルスケアアドバイス
- ・予防訓練支援

地域で統制された情報流通環境

IoT/BD/AI プラットフォーム

要素技術/  
技能を確立

診療、日常健康支援機器の開発

地域の新規職業・雇用機会創出

科学的エビデンスに基づく未病診療

アウトカムを世界へ発信

# 次世代地域包括ケアシステム開発プロジェクトメンバー (2017年度経産省・NEDO「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」)

